



もっと知りたい!

きよた歴史図鑑

清田の昔の様子と人々の暮らしを、写真と文章で分かりやすく紹介しています。

ジャンル別に掲載され、清田の歴史を簡単に調べることができます。



<http://kiyota-rekishi.nextday.jp/>

あしりべつ郷土館

清田で発掘された土器などの考古資料や、開拓当時の農機具・生活道具などの歴史資料が、年代順に分かりやすく展示されています。



所在地 清田1条2丁目 区民センター2階

☎ 885-0869

開館時間 午前10時～午後4時

休館日 毎週月曜日、年末年始

白旗山

昭和20年代半ば、白旗山では木の間伐が行われていました。

間伐木を大谷地の貨物駅に運ぶのは冬期間の若者の仕事。50〜60人が宿舎に泊まり込みで作業に明け暮れました。

運搬には「バチバチ」というソリを二つ抱かせたような形の特別な馬車を使用。重い荷物を積んで急な坂を下るため、危険を伴う作業でした。

当時は、白旗山の間伐作業や肥料のための人ぶんくみ取りなど、嫌がられる辛い仕事をこなしてこそ一人前と見なされたそうです。



◀間伐木運搬の様子



◀バチバチあしりべつ郷土館展示



▲里塚小唄の記念碑



▲戦時中の出征式



▲清田団地に向かうバス

里塚小唄

里塚小唄は、昭和25年に青年団の文化活動の一環として、三里塚小学校の当時の校長が作曲した唱歌です。平成16年の開校100周年に向けて歴史を調べる中で発見され、ふるさとの歌として再び住民に親しまれています。平成21年には、三里塚神社に記念碑が建立されました。

アシリベツの坂

清田と二里塚との間に位置する、「アシリベツの坂」。戦時中は、この坂の上で万歳をして、出征する兵士を送り出しました。また、人間ばかりではなく、馬も軍馬として召集されたそうです。

リンゴ畑

平岡地区では、大正末期からリンゴの栽培をしていました。リンゴ栽培で一番の脅威が台風。昭和29年、洞爺丸台風の際には、収穫を目の前にしてすべてのリンゴが落ちてしまったそうです。

清田団地

清田団地の開発が行われた当時、この辺りには交通機関がなく、開発業者が無料バスを運行する予定でした。しかし、業者の倒産により運行は白紙になってしまいました。その後、新聞社などの協力を得て住民運動を展開。尽力の末、民間会社による運行が実現したのです。